

農学研究科（修士課程）

【1】求める学生像

農学研究科は、農学の専門分野における知識と技術を修得し、分野の枠を超えた知識及び考え方を取り入れた、創造性豊かな優れた研究者や技術者等の高度な人材を養成することを目的とします。求める学生像は以下の通りです。

■ 生物資源科学専攻

農学を基盤とした人類の生存に必要な食料、環境、資源・エネルギー、経済・社会・文化、生命などに関わる4つの教育研究コースを擁しています。生物資源の開発と生産、農業生産環境の制御、或いは、国内外の地域産業に関わる諸分野において、その社会的要請にこたえうる高度な専門性と問題解決能力を身につけた人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 専門分野に関する基礎学力及び基礎知識を持つ人
- ② 専門分野に関する課題発見・解決能力を養うために必要な思考力・創造力・判断力を持つ人
- ③ 研究者倫理や連携研究に対し積極的に取り組める人
- ④ 異分野にも関心があり、社会貢献や国際交流にも意欲的な人

<コースの求める学生像>

1 生物科学コース

有用な動植物の育種開発ならびに生物制御機構の解明と応用を中心としたバイオサイエンスに関する知識の修得と研究を志す人

2 食資源環境科学コース

地球レベルから地域までの幅広い環境保全ならびに環境負荷の少ない農業生産環境の創造・維持に関する知識の修得と研究を志す人

3 生命機能科学コース

生命現象と遺伝機能の化学的解明ならびに生物の機能性を利活用した食品の製造・貯蔵などに関する知識の修得と研究を志す人

4 国際・地域マネジメントコース

農林水産業に関連する経済や経営管理システム、農村の社会構造と集落維持システムならびに産業・地域開発に伴う環境問題と健康問題に関する知識の修得と研究を志す人

【2】入学者選抜の基本方針

農学研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての方を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、外国語と専門科目に関する筆記試験及び成績証明書によって評価します。また、各コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接試験と志望理由書によって評価します。

社会人特別入試

大学卒業後に社会における専門分野の職業経験を持つ方を対象とした社会人特別入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、研究計画書、研究業績書を踏まえた口述試験及び成績証明書によって評価します。また、各コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接試験と志望理由書によって評価します。

外国人留学生特別入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、外国人留学生入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、口述試験と成績証明書によって評価します。また、各コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接試験と志望理由書によって評価します。

農学研究科（修士課程）で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象専攻
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識	外国語 (TOEIC のスコア) や専門科目の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試	生物資源科学専攻
		成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試	生物資源科学専攻
	専門分野における学習能力や研究遂行能力	口述試験によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	社会人特別入試 外国人留学生特別入試	生物資源科学専攻
		研究計画書によって入学前の研究概要と入学後の研究計画を評価します。	社会人特別入試	生物資源科学専攻
	研究業績書によって入学前の研究実績及び研究内容を評価します。	社会人特別入試	生物資源科学専攻	
態度・意欲・興味・関心	志望専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	面接試験と志望理由書によって、志望コースで学ぶ動機、意欲、積極性等を評価します。	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試	生物資源科学専攻